

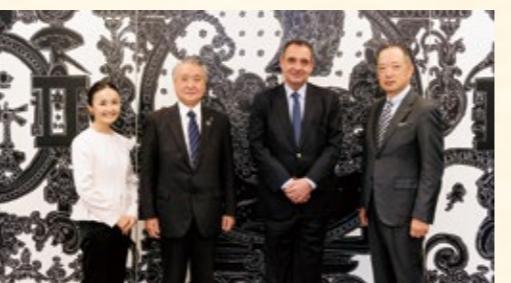


- ① 愛知県東海市、静岡県袋井市、釜石市小学生は、ラグビーワールドカップが開催されたスタジアムの芝生の感触を楽しみ、ラグビーを通じて絆を深めました
 ②③鵜住居小と袋井市小学生によるタグラグビーの交流試合。あいにくの天気でしたが、グラウンドはたくさんの笑顔と元気な声でいっぱいになりました
 ④ 東海ラグビースクールと釜石シーウェイブスジュニアの試合。真剣勝負を展開し、体をぶつけ合い友情を深めました
 ⑤ 震災直後から継続して支援を頂いている北九州市の「絆焼うどんプロジェクト」から、まんぶくフェスでの売り上げを全額寄付していました
 ⑥ 来場者は、地元だけでなく、普段は食べられない友好都市などのグルメを堪能しました
 ⑦⑧働く自動車展は子どもに大人気。高所作業車に乗り、鵜住居の景色も楽しめました
 ⑨ ナンダ☆モンセのステージは、リズミカルな音楽で会場が一塊となり盛り上がりいました
 ⑩ 釜石シーウェイブスアカデミーとレッドファイアーズ（北上市）が対戦、憧れのスタジアムで思いっきりラグビーを楽しみました
 ⑪ 釜石シーウェイブスと船岡自衛隊の一戦は、シーウェイブスが力強いコンタクトで相手を圧倒し快勝しました

9月30日

ラベンダー観光農園への支援を頂きました

市が進めている観光農園の整備に対する寄付金の贈呈式が、在日フランス大使館で開催されました。寄付金は市が連携協定を結んでいるロクシタンジャポン（株）の他、（株）高島屋、（株）阪急阪神百貨店から頂きました。市は、姉妹都市のディーニュ・レ・バン市からラベンダーの種子の寄贈も受け、育てた苗は農園への定植を予定しています。



写真左から、ロクシタンジャポン（株）木島潤子代表取締役社長、野田市長、フィリップ・セトン駐日フランス大使、（株）高島屋 村田善郎代表取締役社長

9月24日・25日

2022釜石絆の日×釜石まんぶくフェス2022

ラグビーワールドカップ2019日本大会釜石開催が行われた9月25日を「釜石絆の日」として、釜石鵜住居スタジアムを会場に、釜石シーウェイブスの絆マッチの他、友好都市スポーツ事業などが開催されました。釜石まんぶくフェスも同時に開催され、フードコーナーや働く自動車展などスタジアムは多くの人にぎわいました。



9月10日 グリーンベルト桜植樹会

桜並木を次世代に

震災の風化を防ぎ、より魅力的な市民の憩いの場にするために港町のグリーンベルトに桜の苗木が植樹されました。

当日は釜石に桜を植える会や地域住民など77人が参加し、ジンダイアケボノやヤエザクラなどの苗木80本を植樹しました。

同会会長の中川淳さんから「震災で変わった風景を住民の手でよみがえらせたくて桜を植え始めた。みんなで手をかけて、次の世代の故郷の風景にしていって欲しい」というメッセージが寄せられました。参加者は快晴の空の下、爽やかな汗を流しました。



9月17日 釜石市敬老会

さらなる健康と長寿を願って

郷土の発展に尽くされた高齢者への感謝を示すため、喜寿（77歳）、米寿（88歳）を迎えた皆さんを招待して敬老会が開催されました。対象者637人のうち、会場には108人が来場しました。ステージで柳家細川流舞踊、鵜住居青年会、釜石中生徒による心を込めた祝いの舞が披露されると、温かい拍手が送られました。

